# 令和元年 8 月の大阪森林便り



### 今月の木の話



シタン・コクタン・タガヤサン

### 家具に珍重されている堅く重たい木

- \*いずれも唐木で、東南アジア産の目方の重い銘木類。
- \*唐木といわれる所以は、昔中国から渡来したということから。
- \*シタンは紫檀。マメ科でローズウッドとも。
- ・産地はタイ、ミャンマー、インド。比重は1.01~1.2。
- \*コクタンは黒檀。カキノキ科。
- ・産地はインド東部、ミャンマー、タイ。比重は1.18。
- \*タガヤサンは鉄刀木の和名。



- ・鉄刀木の中にはテツザイノキ(鉄材木)ともいわれる材も。
- ・テツザイノキの比重は1.0~1.2。
- ・比重 1.0 は水に浮くか沈むかの瀬戸際。
- \*唐木の用途は家具に作られるものが多く、座卓、茶棚、仏壇仏具、花台、短冊掛けなど。
- \*ビャクダン(白檀)は芳香が強いので、扇子とか数珠、お香用に利用。 (日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)



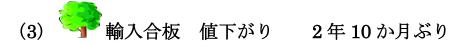
### (1) 北米産丸太が下落 7月積み 対日価格、3か月連続

- \*北米産丸太の7月積み日本向け輸出価格交渉が3か月連続の値下げで決着。 前月に比べ2%安。
- \*競合する欧州産の集成材が日本と欧州連合(EU)の経済連携協定(EPA) 発効に伴う関税引き下げなどで値下がり。
- (2019年7月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (2) 大林組、純木造高層ビル 2020 年着工

- \*大林組は鉄筋構造と同様の強度を持つ、純木造の高層ビルを 2020 年 3 月に着工。
- ・横浜市の自社研修施設として建設。
- ・地上10階建ての高層ビルを純木造で実現するのは国内初。2022年3月竣工。
- ・大林組は柱と梁を一体化し、厚さが通常の6倍超の合板で梁部分を補強した資材を開発。
- \*国内では樹齢50年を超える人工林の面積が全体の65%。
- \*木材需要の約4割は建設現場。
- \*竹中工務店は木造と鉄筋コンクリートなどを組み合わせる技術を開発。2020年には12階建ての集合住宅が竣工。
- \*住友林業は 2041 年までに、全体の 9 割が木材となる高さ 350mの超高層ビルを建てる構想。

(2019年7月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



#### 住宅着工減響く

- \*輸入合板の流通価格が2年10か月ぶりに下落。
- ・国内の合板市場で輸入合板のシェアは4割強で、大半が南洋材合板。
- ・コンクリート型枠用合板厚さ12ミリは6月末に比べて1%安。
- ・構造用合板厚さ12ミリも1%安。
- ・値下がりは2016年9月以来2年10か月ぶり。
- \*5月の住宅着工件数は前年同月比8.7%減の72,581戸と2カ月連続で減少。
- ・落ち込みが目立つのが分譲マンションで、2か月連続の2桁減。
- \*東京地区の6月の生コン出荷量は、前年同月比18.8%減と5カ月連続で2 桁減。
- \*5月の合板輸入量は前年同月比 32.3%減少。2009 年 2 月以来 10 年 3 か月ぶりの低水準。

(2019年7月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

